

市内一斉地震速報訓練を実施します

近年は、令和6年台風10号などの大規模な災害が比較的身近なところで発生しており、また、昨年1月には能登半島地震が発生し、最大震度 7 を観測するなど、わたしたちを取り巻く災害リスクは、年々高まっていると言っても過言ではありません。

災害から命や財産を守るためには、日頃の備えが重要です。今回、防災訓練の一環として、市内一斉に地震速報訓練放送を下記のとおり行いますので、皆さまのご参加をお願いします。

日 時

令和7年3月9日(日)
午前10時00分～

内 容

・午前9時45分～ 事前放送

※10時00分より防災行政無線で地震速報(訓練放送)を吹鳴することの事前放送を行います。

・午前10時00分～ 地震速報訓練

※防災行政無線で、地震速報訓練(訓練放送)を吹鳴しますので、各自で身を守る行動(シェイクアウト訓練※下記参照)を行ってください。

その場で机などの下に入り

約**1分間**身を守る防災訓練です



DROP!



COVER!



HOLD ON!

地震の揺れにより、身の回りの物が落ちたり倒れたりすることで、自分や家族が負傷する恐れがあります。揺れを感じたら、机の下などの安全な場所に身を隠し、頭を守ることで落下物からの被害を回避しましょう。

災害時に備え、日頃から非常時の持ち出し品を準備しておきましょう

南海トラフ地震などの大規模な災害発生時には、ライフラインが停止して普段どおりの生活ができなくなる場合や、建物の倒壊や焼失により在宅避難ができなくなる場合もあります。

そのような事態に備えて、日頃から非常時の生活に必要な物を準備したり、備蓄品の見直しを定期的に行いましょう。

非常持ち出し品 チェックリスト

ご自身やご家族に必要なものをすぐに持ち出せるよう準備しましょう。避難に支障が出る重さにならないよう注意しましょう。

重さの目安 男性15kg 女性10kg



食料品等

- ☐ 飲料水(500ml×1人3本)
- ☐ 非常食(乾パンなど)
- ☐ 栄養補給・調整食品
- ☐ 飴・チョコレート
- ☐ 粉ミルク・ほ乳びん
- ☐ 割り箸・スプーン・紙皿



衛生用品

- ☐ ウェットティッシュ・ポケットティッシュ
- ☐ 携帯トイレ ☐ 紙オムツ
- ☐ 口腔ケア用品 ☐ 生理用品
- ☐ ドライシャンプー

避難先での新型コロナウイルス対策

- ☐ マスク ☐ ペーパータオル
- ☐ 体温計 ☐ アルコール消毒液
- ☐ 使い捨て手袋

生活用品・情報機器

- ☐ 携帯ラジオ ☐ 予備電池
- ☐ 携帯電話(スマートフォン)
- ☐ 携帯電話等の充電機
- ☐ 防災マップ ☐ 周辺地図
- ☐ 筆記用具(ペン・メモ帳)
- ☐ カッター・ハサミ
- ☐ 衣類・下着 ☐ 靴下
- ☐ タオル ☐ 毛布
- ☐ ビニール袋

貴重品

- ☐ 現金 ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑 ☐ 健康保険証
- ☐ 重要書類の番号を記したもの
- ☐ 家族等の連絡先・写真

身を守るもの

- ☐ ヘルメット ☐ ゴーグル
- ☐ 長袖・長ズボン ☐ レインコート
- ☐ 丈夫な手袋 ☐ 笛
- ☐ 運動靴(底厚の履き慣れたもの)
- ☐ 靴の中敷き(踏み抜き防止)
- ☐ 懐中電灯(ヘッドライト)

医療品等

- ☐ 持病薬 ☐ 常備薬 ☐ 救急セット

平時に行う家庭での対策

- ☐ 家具や壁飾りなどの固定
※L型金具、耐震ボールなどで固定しましょう。
- ☐ ガラス飛散防止(フィルム貼付)
- ☐ 感震ブレーカーの設置
※地震発生時に自動的に電気の供給を遮断し、停電復旧時の電気火災を防ぎます。

日頃からの備蓄について

非常時に備え、飲料(1人1日2〜3リットル)や食料、生活用品などを物置、キッチン、押し入れなどに小分けして備蓄(最低3日分・推奨1週間分)しておきましょう。ローリングストック法(備蓄した非常食を毎月1回以上食べて買い足す備蓄法)を行うことで、非常食の消費期限切れを防いだり、消費期限が短いレトルト食品や野菜ジュースも非常食として活用できます。

防災のしおり(大分県防災対策企画課作成)より転用

お問合せ先: 宇佐市役所 危機管理課 防災係 ☎ 27-8111